



2018年3月期 第1四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2017年8月7日

本日の発表のポイント

1. 2018年3月期 第1四半期 連結決算実績:

- 営業損益は、売上の減少に伴い売上総利益が減少したことから損失を計上。当期純損益は、営業損失に加え、為替差損の発生により損失となった
- 計画比では、売上未達による販売費及び一般管理費の減少や事業ミックスによる原価率の低減により、営業損益は良化

2. 2018年3月期 連結業績予想:

- 上期・通期ともに、カーOEMの受注状況を反映し、前回予想に対して売上は減少を見込むが、利益予想は据え置く

本日の説明

1. 2018年3月期 第1四半期連結決算
2. 2018年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

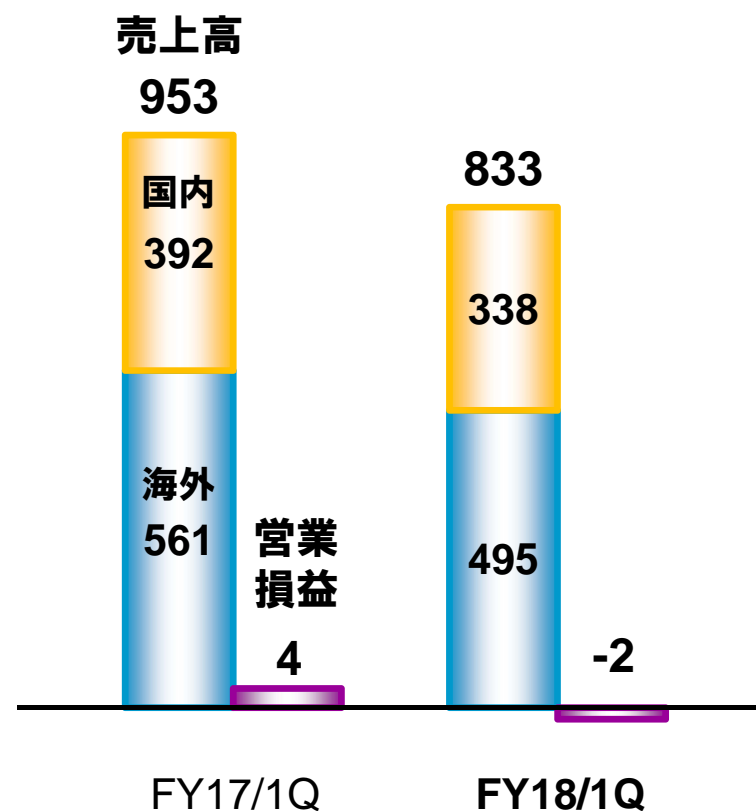
1. 2018年3月期 第1四半期連結決算

2018年3月期 第1四半期：連結業績概要

(単位:億円)

(単位:億円)

	前年同期	当四半期	前年同期比
売上高	953	833	87.4%
営業損益	4	-2	-
経常損益	20	-12	-
当期純損益*	13	-20	-
1株当たり純損益*	3.46円	-5.54円	-9.00円
ROE	6.2%	-9.9%	-16.1%
1株当たり純資産	213.28円	223.62円	+10.34円
ROA	1.8%	-2.9%	-4.7%

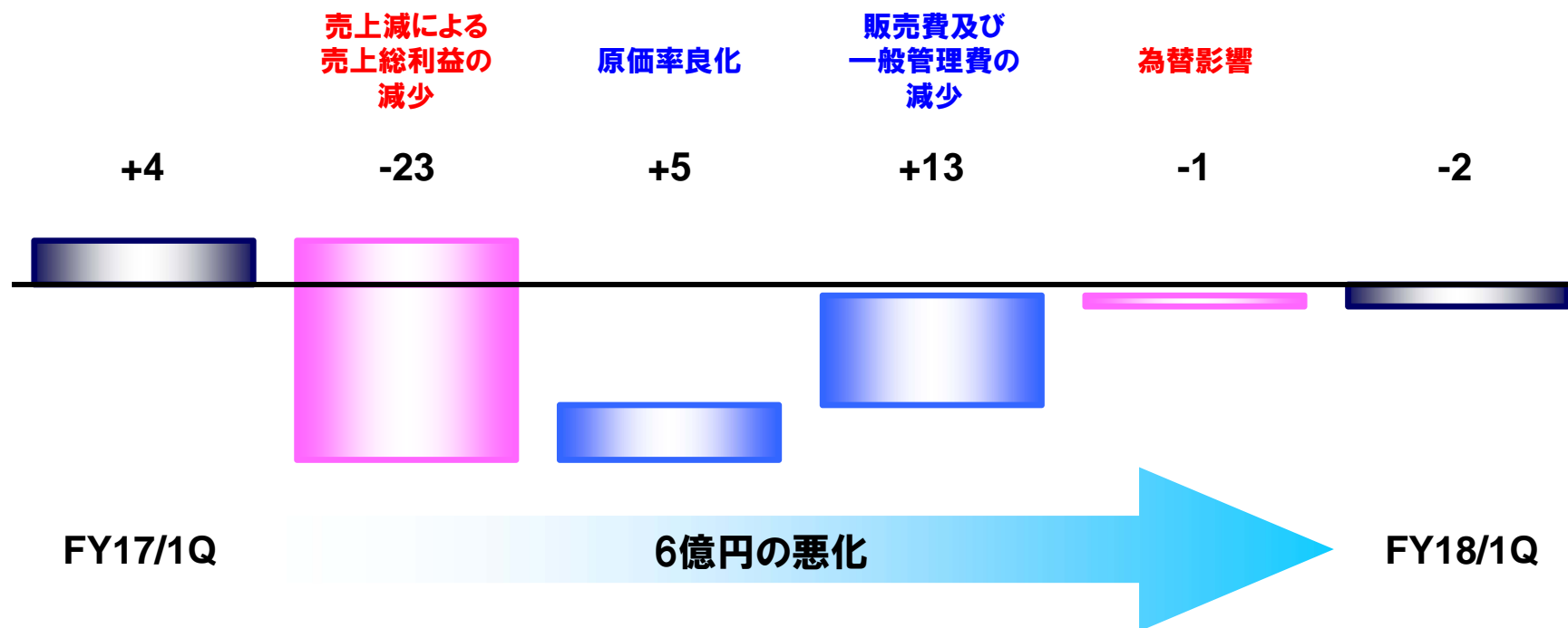


* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替平均レート	1米ドル	108.14円	111.09円	+2.7%
	1ユーロ	122.02円	122.19円	+0.1%

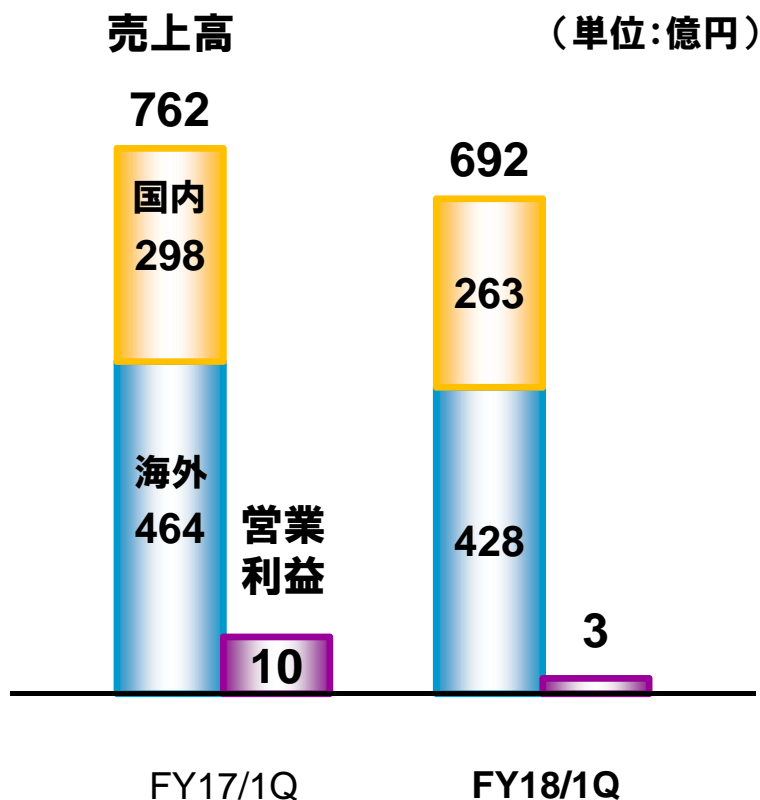
2018年3月期 第1四半期：営業損益増減要因

(単位:億円)



- 売上総利益は、カーOEMの売上減等により減少
- 原価率は、CATV関連機器の事業譲渡の影響等により良化
- 販売費及び一般管理費は、マーケティング費用の減少等により減少

2018年3月期 第1四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 60% (前年同期 63%*)

前年同期比	91% (国内 88%、海外 92%(現地通貨ベース 90%))
増収要因	OEMカーオーディオ、市販カーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

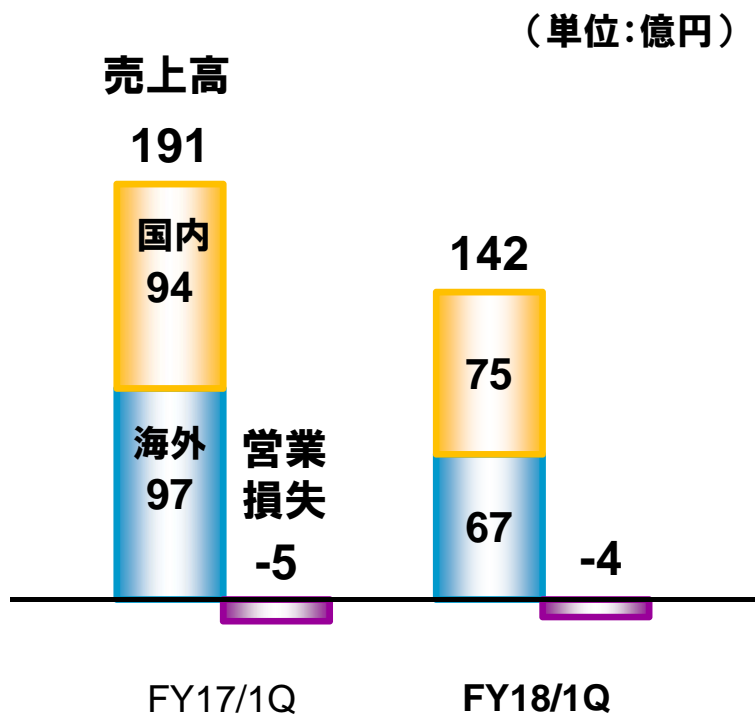
前年同期比	7億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 原価率の悪化 為替影響

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

* 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前年同期の数値についても組替表示しています。

2018年3月期 第1四半期：その他



< 売上高 >

前年同期比	74% (国内 79%、海外 69%(現地通貨ベース 69%))
増収要因	DJ機器(生産・販売受託)、電子部品
減収要因	ホームAV、FA機器、CATV関連機器(事業譲渡)

< 営業損益 >

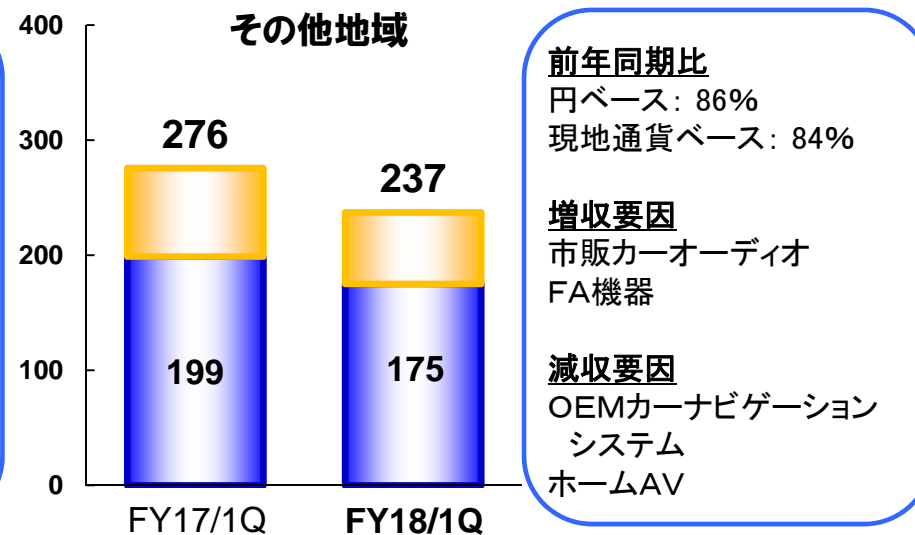
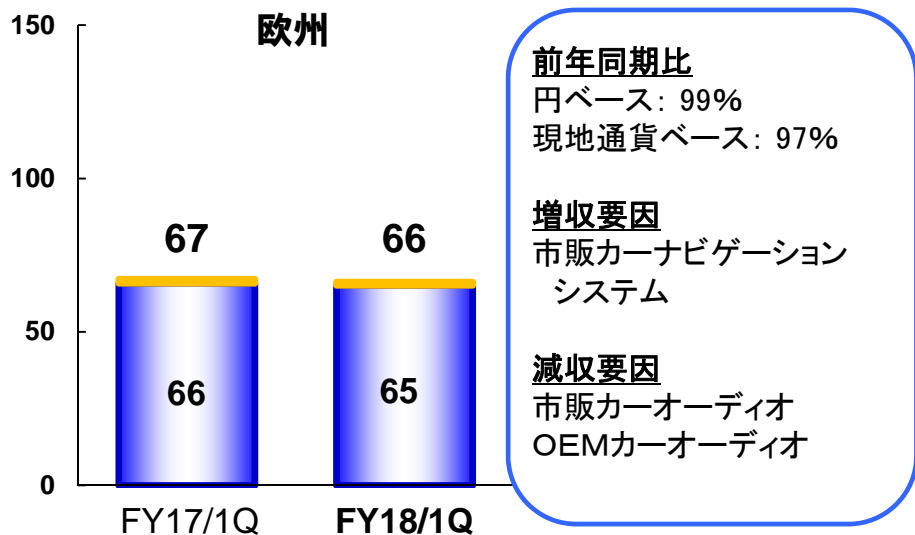
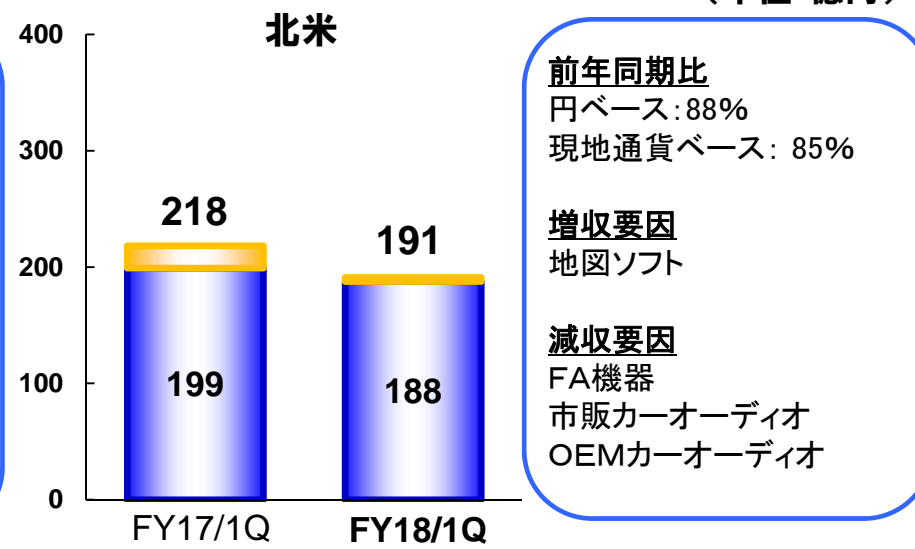
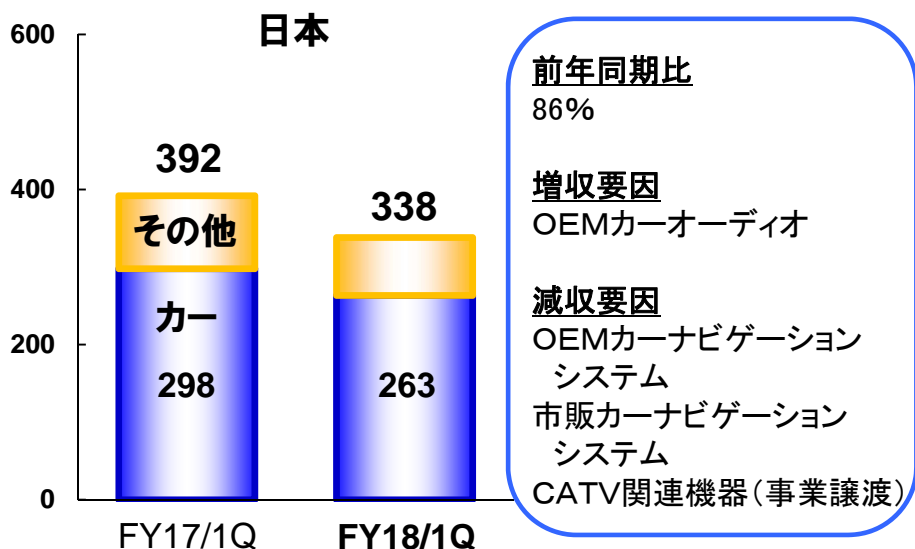
前年同期比	1億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少 為替影響
悪化要因	売上減による売上総利益の減少

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
光ディスクドライブ関連製品、FA機器、電子部品、
有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

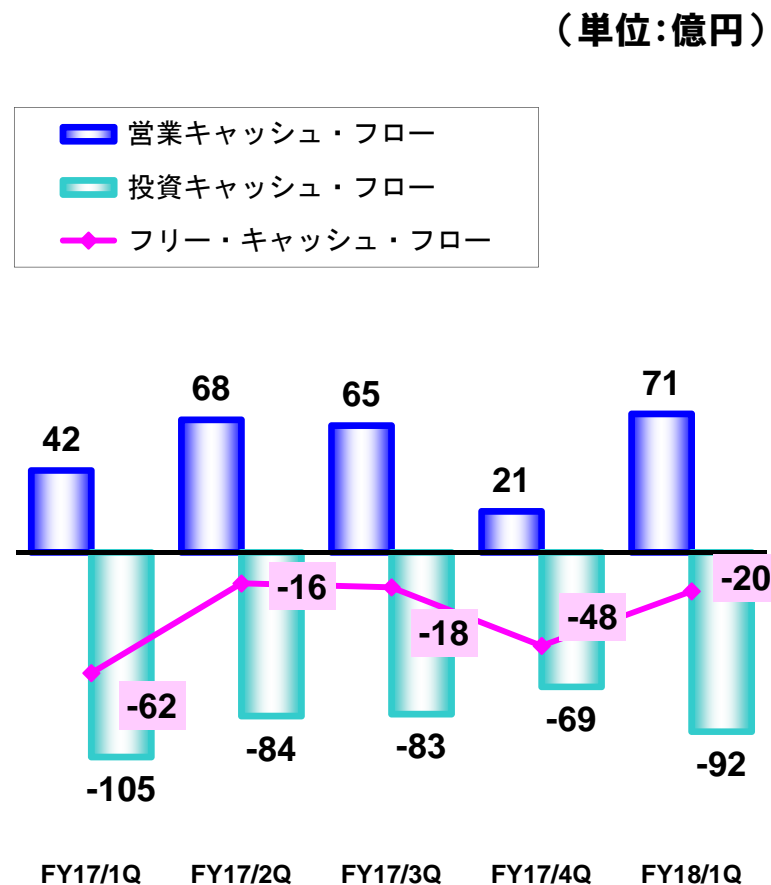
2018年3月期 第1四半期：地域別売上高

(単位:億円)



2018年3月期 第1四半期：キャッシュ・フロー

	前年同期	当四半期
税金等調整前当期純損益	19	-15
減価償却費	64	46
売上債権の増減	87	115
棚卸資産の増減	-25	-33
仕入債務の増減	-50	-19
未払費用の増減	-25	-31
その他	-28	9
営業キャッシュ・フロー	42	71
投資キャッシュ・フロー	-105	-92
財務キャッシュ・フロー	-20	14
現金・現金同等物の換算差額	-28	3
フリー・キャッシュ・フロー	-62	-20
現金・現金同等物の増減	-110	-4
現金・現金同等物の残高	410	381
NETキャッシュ残高	63	-13



2. 2018年3月期 連結業績予想

2018年3月期：連結業績予想

利益に関する予想は、前回予想(5月12日)から、変更ありません。

(単位:億円)

	上期			通期		
	前期実績	前回予想	今回予想	前期実績	前回予想	今回予想
売上高	1,904	1,820	1,770	3,867	3,900	3,800
営業利益	15	20	20	42	100	100
当期純損益*	10	-10	-10	-51	35	35
1株当たり純損益*	2.63円	-2.72円	-2.72円	-13.76円	9.53円	9.53円
ROE				-6.0%	4.2%	4.1%
1株当たり純資産				224.72円	234.25円	238.80円
ROA				-1.7%	1.2%	1.2%

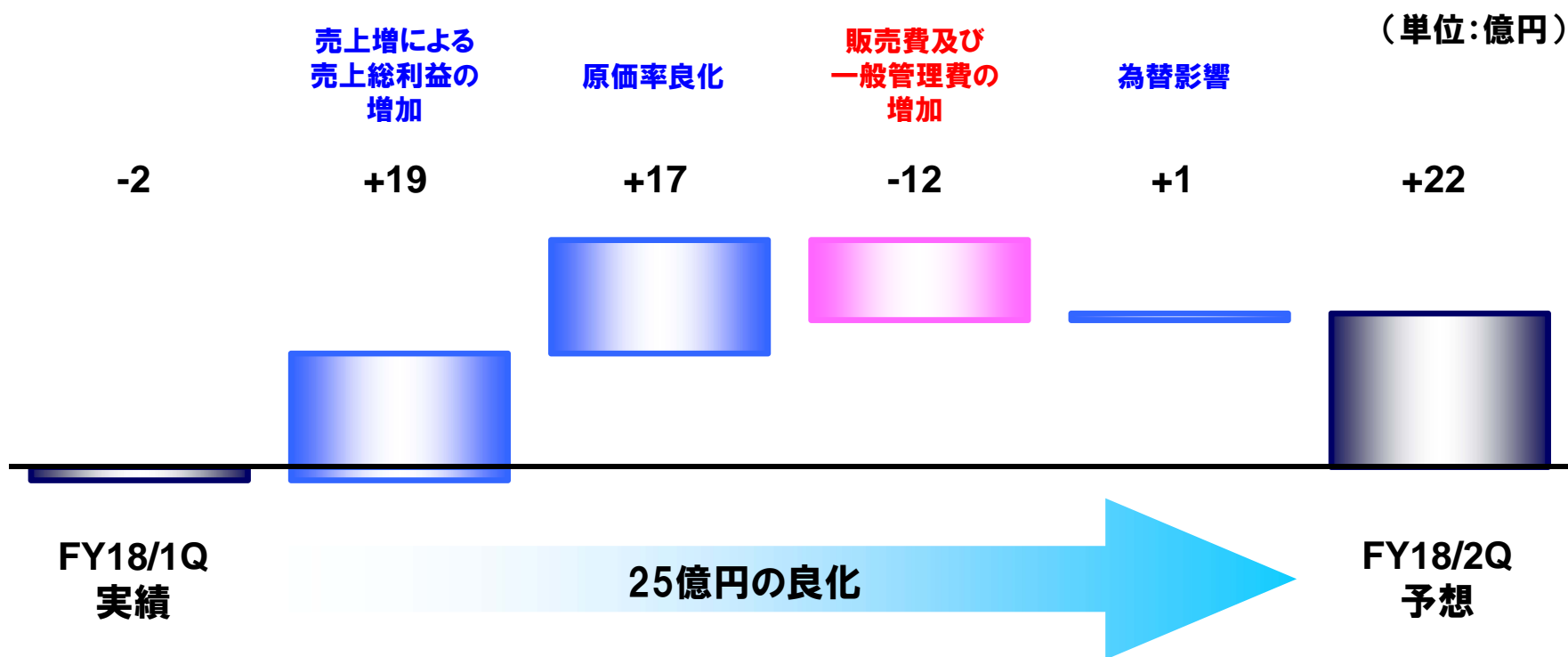
* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替 前提レート	1米ドル	105.29円	110円	110.55円	108.38円	110円	110.27円
	1ユーロ	118.15円	118円	125.10円	118.79円	118円	126.55円

注) 1. 残り9ヵ月間の予想レートは、1米ドルは110円、1ユーロは128円を前提にしています。

2. 1円の円高インパクトは、売上高では、米ドルは▲約14.1億円、ユーロは▲約1.5億円、営業利益では、米ドルは+約0.1億円、ユーロは▲約1.2億円。

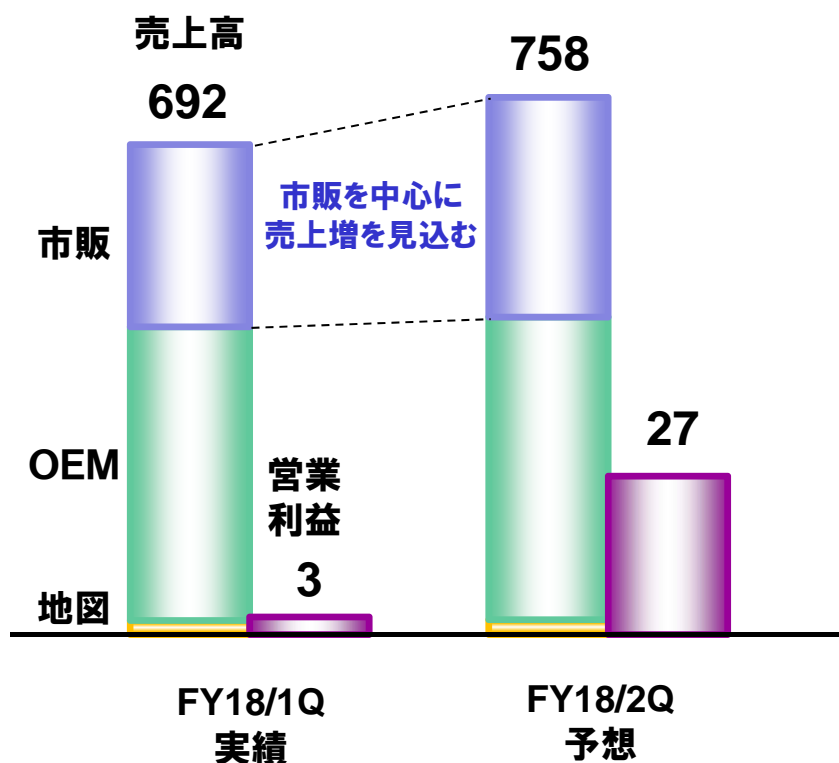
2018年3月期予想：第2四半期 営業利益(第1四半期比較)



- カー市販の新製品導入やFA機器の受注増に伴う売上総利益の増加
- 売上増および新製品導入効果による原価率の良化
- 販売費及び一般管理費は、拡販のために増加

2018年3月期 第2四半期 カーエレクトロニクスの取り組み

(単位:億円)



北米・アセアンを中心とした海外市販市場向けに、カーAV新製品を導入

スマートフォン連携を強化したラインアップの拡充



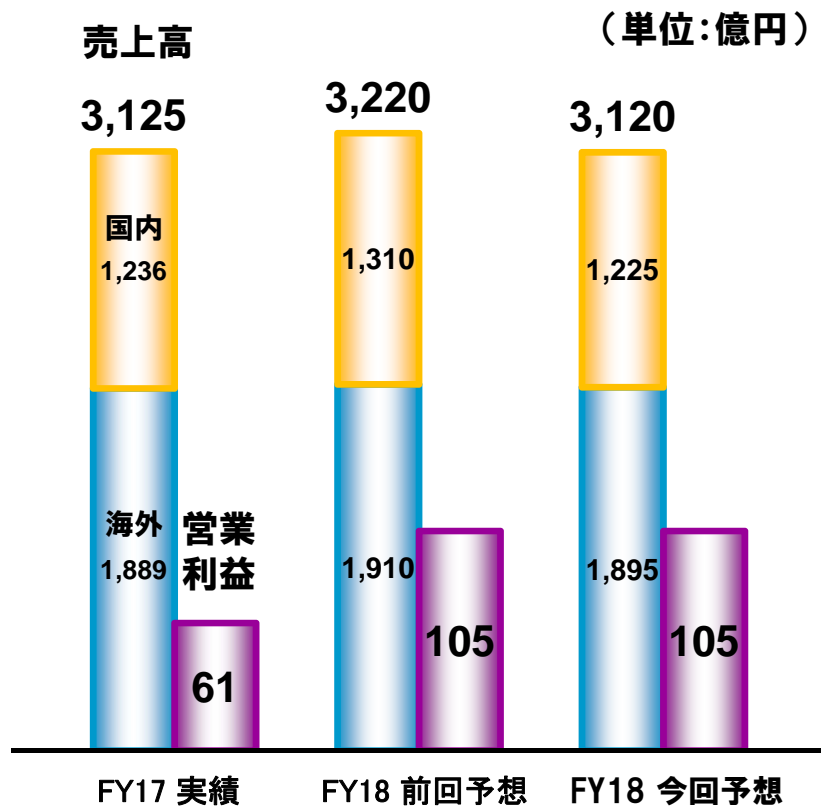
国内市販市場向けに、サイバーナビの新製品を順次導入

大画面、高精細、高音質を実現



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

* 1 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前期の数値についても組替表示しています。

* 2 前回予想から変更ありません。

< 売上高 > OEM比率 56% (前期 60% *1)

前期比	100% (国内 99%、海外 100% (現地通貨ベース 98%))
増収要因	市販カーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム
対前回予想	97% (国内 94%、海外 99%)
増収要因	特になし
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム

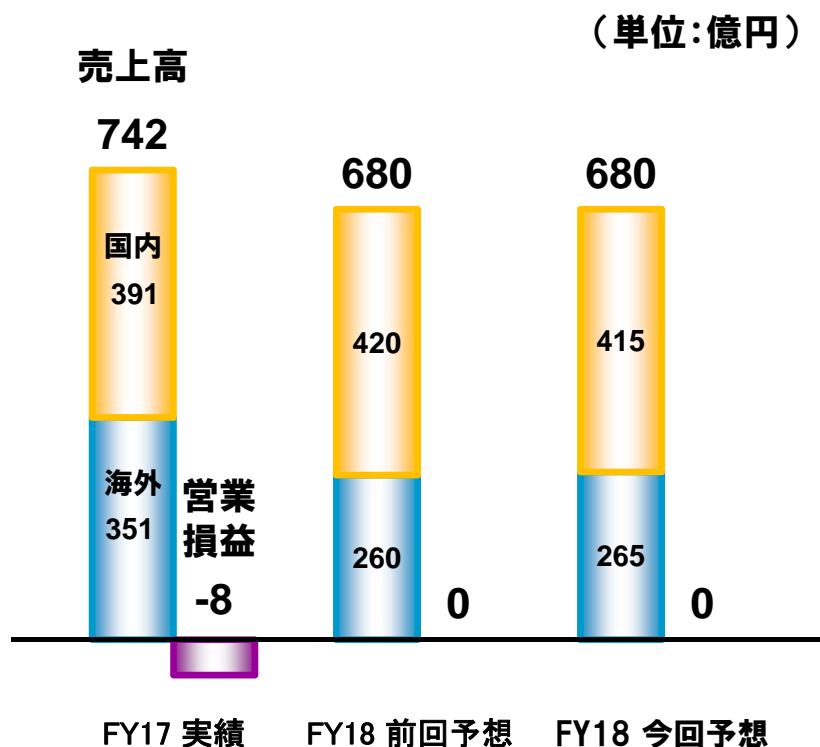
< 営業利益 >

前期比	44億円の良化
良化要因	原価率の良化
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 売上減による売上総利益の減少、為替影響
対前回予想	変化なし
良化要因	原価率の良化、販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少、為替影響

< 出荷台数 > (単位:千台)

	FY17実績	FY18予想 *2
市販カーナビ	568 *1	580
市販カーCD	5,834	6,200
市販カーAV	1,367	1,650

2018年3月期予想：その他



< 売上高 >

前期比	92% (国内 106%、海外 75%(現地通貨ベース 74%))
増収要因	DJ機器(生産・販売受託)、FA機器
減収要因	ホームAV、CATV関連機器(事業譲渡)
対前回予想	変更なし

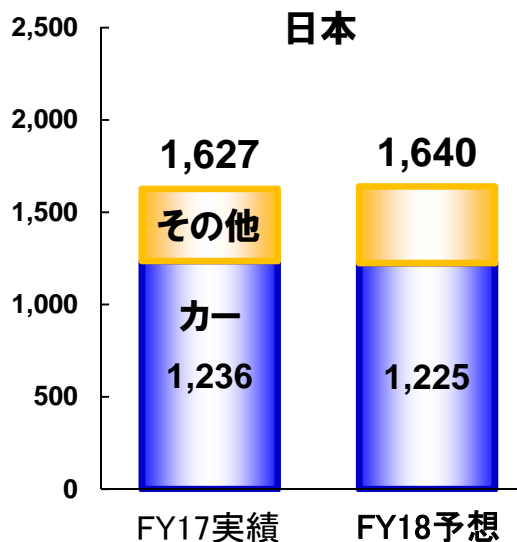
< 営業損益 >

前期比	8億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少、為替影響
悪化要因	売上減による売上総利益の減少
対前回予想	変更なし

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期予想：地域別売上高

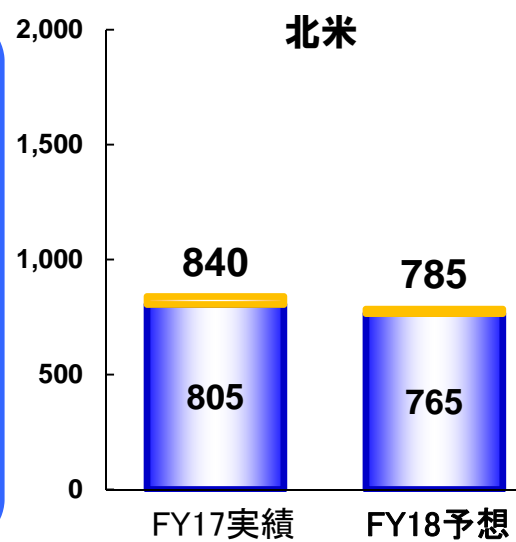
(単位:億円)



前期比
101%

増収要因
市販カーナビゲーションシステム
OEMカーオーディオ
地図ソフト
FA機器
DJ機器

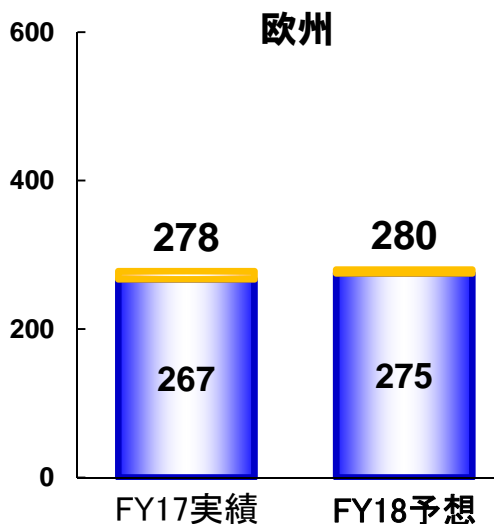
減収要因
OEMカーナビゲーションシステム
CATV関連機器(事業譲渡)



前期比
円ベース: 93%
現地通貨ベース: 92%

増収要因
市販カーオーディオ

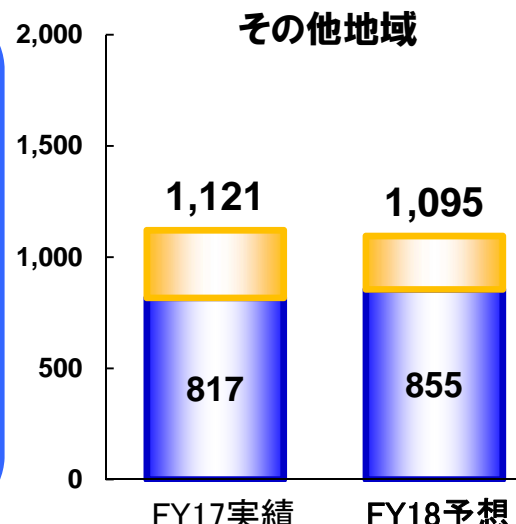
減収要因
OEMカーナビゲーションシステム
OEMカーオーディオ



前期比
円ベース: 101%
現地通貨ベース: 94%

増収要因
市販カーオーディオ

減収要因
特になし



前期比
円ベース: 98%
現地通貨ベース: 96%

増収要因
市販カーオーディオ

減収要因
ホームAV

2018年3月期予想：財務指標

(単位:億円)

	FY17実績	FY18前回予想	FY18今回予想
研究開発費 (売上高比率)	239 (6.2%)	250 (6.4%)	250 (6.6%)
設備投資	352	350	350
減価償却費	249	215	215
棚卸資産	498	520	520
営業キャッシュ・フロー	196	230	230
投資キャッシュ・フロー	-340	-360	-360
財務キャッシュ・フロー	14	-5	-5
フリー・キャッシュ・フロー	-144	-130	-130
純資産	868	900	920
自己資本比率	29%	30%	30%
D/E比率	0.5倍	0.4倍	0.4倍
NETキャッシュ残高	-8	-130	-130

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

Pioneer